

防災・消防

●防災

日高振興局では、『日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震減災計画(令和5年2月)』で設定された、2031年度までの10年間で、想定される人的被害を8割減少させる目標を受け、「命を守る」、「被害を最小限に抑える」、「迅速かつ確実に復旧・復興する」という基本理念のもと、「地域防災力の強化」や「災害に強い地域づくりの推進」などの取り組みを進めております。

令和5年10月には、地域の災害対応力を強化するため、大規模な地震・津波災害を想定した「令和5年度(2023年度)北海道防災総合訓練」において、管内各町や防災関係機関と連携し、住民避難訓練や救出救助訓練等を実施しました。

また、防災教育の普及・啓発を図るため、警察・消防等の防災業務経験者や高校生を対象に、地域での防災活動のリーダーとなる「北海道地域防災マスター」を認定する取組を進めており、これまでに総勢243名の皆様に登録いただいております。



令和5年度(2023年度)北海道防災総合訓練の様子
(ヘリコプターによる救出救助訓練)



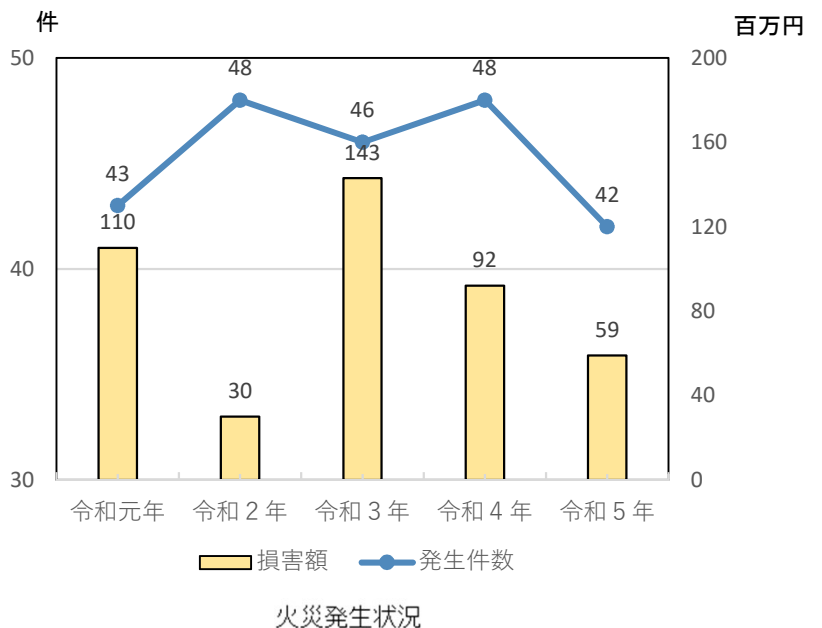
地域防災マスター認定研修会の様子(浦河町 浦河高等学校)

●消防

管内には、消防機関として日高西部消防組合(構成町:日高町、平取町)、日高中部消防組合(構成町:新ひだか町、新冠町)、日高東部消防組合(構成町:浦河町、様似町、えりも町)が設置されています。

令和5年の火災発生件数は、前年より6件少なく42件、被害額は33百万円少なく59百万円となっております。

管内における令和元年から5年間の火災発生状況は、右の表のとおりです。



ひだかのくらし